

版画でつくる  
**驚異の部屋へようこそ!展**  
 Willkommen in der "gedruckten"  
 Wunderkammer!  
 目ざめよ! 好奇心 脳に効く展覧会



2011年10月8日(土) - 11月23日(水・祝)

開場時間 = 火~金 10:00-17:00 (入場は16:30まで)  
 土・日・祝日 10:00-17:30 (入場は17:00まで)



**町田市立国際版画美術館**

休館日 = 月曜日、ただし10月10日(月・祝)は開館、  
 11日(火)は休館

主催 = 町田市立国際版画美術館



大自然は時に人知をはるかに超え、猛威をふるいます。今、私たちはその事実を深く受け止めながら、未来に向けて歩み出そうとしています。そんな時、あらためて自然の中に大いなる驚異を見出し、表現へと昇華させてきた人類の営みを振り返ります。

はるか昔、珍しいもの、不思議なものをたくさん集めて一堂に並べたい！ そんな欲求を抱いた人々がいました。見るのなき好奇心を満たすべく作られた部屋が「驚異の部屋」。珍しい動物の剥製や貝殻、鉱物や植物から宝石や美術品まで、あらゆるものを鏡のように集めたその陳列室は博物館や美術館の始まりでもありました。本展では15～18世紀にヨーロッパで流行したこの「驚異の部屋」の精神にない、その雰囲気や趣向を再現します。もちろん版画だけで往時の「驚異の部屋」が作り出せるわけではありません。その代わり、版画の世界の広さ、奥深さを垣間見せてくれる変り種を多く展示します。解剖図や動物図譜などの自然の驚異、怪異な空想の生き物など、あっと驚くような版画や書籍約200点が大集合します。描かれた事物の珍奇さと、精緻な技法や美しい多色刷りの素晴らしさが相まって、版画の世界の広さや奥深さ、その魅力をアピールしてくれるでしょう。美しいものを鑑賞するという美術館で過ごす時間は、私たちの心に「うろおい」や「ゆとり」を生み出します。でも、この展覧会はそのだけではありません。見る人の好奇心を刺激し、脳を活性化させ、まさに「脳に効く」展覧会なのです。

## 版画でつくる 驚異の部屋へようこそ！ 展

Willkommen in der "gedruckten" Wunderkammer!

### 目ざめよ！ 好奇心 脳に効く展覧会

#### 【開館日時】

- 10月8日(土)、9日(日)  
学芸員によるガイド・レクチャー
- 10月10日(月・祝)  
講演会第1弾「驚異の人、キルヒャーの世界」  
笠箕崎(かきぎさう)  
金沢工業大学教授、建築学者
- 10月16日(日)  
講演会第2弾「驚異と自然★時空の旅」  
巖谷國士(いわやくに)  
明治学院大学名誉教授、美術評論家、フランス文学者

★ガイド・レクチャー、講演会はいずれも  
午後2時～3時30分の予定  
会場：講堂(200名様まで先着順)  
入場無料(ただし、本展ご観覧のお客様対象)  
手話通訳付

- 11月1日(火)～5日(土)  
コンピューターがひらく新たな展示の可能性  
武蔵野美術大学 造形研究センター  
デジタルアーカイブ体験  
武蔵野美術大学 美術館・図書館が所蔵する美しい  
博物館語のデジタル画像を独自のシステムでご  
覧いただきました。(システム開発:武蔵野美術大学  
美術館・図書館、造形研究センター)  
午後1時～午後4時30分 講堂 入場無料

- ギャラリー・トーク  
11月5日(土) 館長によるスペシャルトーク  
10月23日(日)、30日(日)、11月13日(日)、23日(水・祝)  
学芸員によるギャラリー・トーク  
午後2時より40分程度 / 観覧券が必要  
スタートは2階展示室入り口付近

- 美術館で語りあおうトークフリーデー  
\*会期中の水曜・土曜日  
\*無料日(10/8)と祝日(11/23)を除く  
「鑑賞のための静けさ」よりも作品をめぐる会話を  
楽しんでいただくという試みです。小さなお子  
様連れの方も気兼ねせずにぜひご入場ください。

※サプライズゲスト！ 展覧会場に荒原弘氏が出現！  
皆さまへのメッセージが映像でご覧になれます。

観覧料＝一般 1,000(800)円  
大学生・高校生 700(500)円  
65歳以上 500(400)円  
中学生以下無料  
\*( )内は20名以上の団体料金  
\*展覧会初日10/8(土)と文化の日11/3(木)は観覧無料  
\*身体障がい者手帳または愛の手帳等をご持参の方  
と付き添いの方1名は半額

### 町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原田4-28-1  
Tel. 042-726-2771・0860 <http://hanga-museum.jp>  
\*小田急線・JR横須賀線原田駅より徒歩15分



同時開催：チベット密教版画—その未知なる世界—  
9/28(水)～12/23(金・祝) 常設展示室 / 入場無料



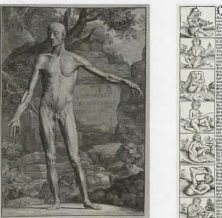
セバ「博物宝典」より「やもり類」1734年刊  
町田市立国際版画美術館



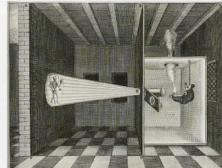
《銀版絵》シナ広東の凱旋門」18世紀末  
町田市立国際版画美術館



ミュンスター「宇宙誌」1578年刊  
天平書局



アルピウス  
「人体の筋肉と骨格の構造」1749年刊  
武蔵野美術大学 美術館・図書館



キルヒャー「光と影の大技術」1671年刊  
金沢工業大学ライブラリーセンター



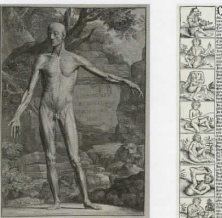
「フロラの神殿」より「エジプトバス」1804年  
町田市立国際版画美術館



ゴッティエ「解剖図集」1748年刊 放送大学附属図書館



ヨンスン「動物図譜」1660年刊  
明治大学図書館



シネデル「年代記」1493年刊  
ミズ/プリンティングミュージアム